

# ぴあ

## 2013年度のご報告 2013.4.1-2014.3.31

# 増収 → 増益 → 増配

チケットのインターネット販売が好調

3期連続 **過去最高の**  
**売上高を記録**



一般社団法人「チームスマイル」  
の活動がいよいよ本格稼働

話題の公演に  
続々と主催参画



# 10円の配当を実施

# 新たなる挑戦への幕開け

## 2013年度決算について

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ぴあグループの当連結会計年度におきましては、大型興行のチケット販売が音楽を中心に様々なジャンルで年間を通じて好調に推移し、中でも、ポール・マッカートニーやザ・ローリング・ストーンズといった大物アーティストによる来日公演には当社も主催者として加わり、大成功を収めました。その結果、2013年度の業績は3期連続で過去最高の売上高を記録するとともに、利益も大幅に伸張し、当初予想を上回る形で増収増益となりました。当期は「再建モード」から「成長モード」への移行を掲げ、黒字基調の拡大を目指して経営努力を積み重ねてまいりましたが、おかげさまで、「成長モード」へのステップを一步踏み出すことができたのではないかと考えております。

## 新たな挑戦の年に向けて

この間、経済の長引く不況が招いた閉塞感や不安感を背景に、個人の消費傾向が「モノ」から「コト」へと移行し、人々の生活においても、リアルな感動や体験がより強く求められ始めています。日本国内のライブ・エンタテインメント市場におきましても、2000年以降で過去最高を記録した2012年に続き、2013年もその数値を上回る見込みとなるなど、堅調な推移を見せています。また、昨年9月に決定しました2020年夏季オリンピック・パラリンピックの東京開催も、この市場の更なる拡大の後押しになるものと期待されます。

そのような状況下、当社では、中期事業計画の最終年度となる2014年度を「挑戦の年」と位置付け、この間粛々と準備を進めてまいりました様々な施策を展開し、新たな成長を遂げるための基盤を整備してまいります。一方、昨年は人事制度や研修制度の抜本的な見直しのほか、育児制度の改定を実施するなど女性の活躍推進に向けた取り組みも開始しました。今後も、従業員が前向きな意欲を持って働くことのできる職場環境の整備を、積極的に進めてまいります。

## 当社のCSR活動について

映画界の新しい才能の発見と育成を目的とした「PFFぴあフィルムフェスティバル」は、今年で36回目を迎えます。今年3月の第37回日本アカデミー賞において、最優秀監督賞など計6部門を制覇した『舟を編む』の石井裕也監督をはじめ、日本映画界を代表するプロの監督をすでに100名以上輩出しています。加えて、「PFFアワード2013」で審査員特別賞を受賞した『山守クリップ工場の辺り』（池田暁監督）が、海外映画祭のコンペティション部門にて相次いでグランプリを受賞するなど、日本国内のみならず、海外からも高い評価を得ています。

また、東日本大震災の直後に、社内の有志から発足した震災復興のボランティア「チームスマイル」の活動も今年で4年目となり、2012年10月には各界の方々からの賛同のもと、一般社団法人化されました。衣・食・住の整備が進みつつある中、これからの復興においては、「心の復興」を中

代表取締役社長  
やないひろし  
**矢内 廣**



心とした第二段階の支援が必要であると私たちは考えています。被災地の方々とともに立ち上げられる仕組みを継続的に実現するために、当社では、この「チームスマイル」をCSR活動として明確に位置付け、エンタテインメントによる元気と勇気を生み出す活動に、主体的、積極的に参画してまいります。

## 不祥事件に対するお詫び

昨年10月に公表しました、当社出版物におけるお取引先様に対する印刷部数の虚偽報告事案に続き、今年2月には「チケットぴあ」Webサイトにおいて、クレジットカード決済をされた一部のお客様に、ご利用代金を二重にご請求してしまう事案が発生しました。株主の皆様をはじめ、お客様、お取引先様に対しご迷惑をお掛けするとともに、日頃のご期待や信頼を損ねる結果を招きましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。当社では、コンプライアンス体制の強化と再構築に向け、新たにチーフ・コンプライアンス・オフィサー（CCO）、ならびにコンプライアンス室を新設しました。今後も全社一丸となって再発防止と信頼回復に向けた取り組みを進めてまいりますので、引き続きご指導とご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

## ピックアップ

### ロック界のレジェンドたちによる話題の公演に主催参画

昨年11月に行われた11年ぶりの来日公演では、大阪・福岡・東京で約26万人を動員したポール・マッカートニー。今年3月に開催された東京ドーム公演が通算28回目となり、海外アーティスト歴代最多記録を更新したザ・ローリング・ストーンズ。彼らの公演には、ぴあも主催者の一社として加わり、年齢を感じさせないエネルギー溢れるステージに、日本中が歓喜しました。話題性の高い優良興行への出資を拡大し、当社の収益性向上にもつなげています。  
（※）ぴあは、東京公演に主催者の一社として参画しました。



### インターネットでのチケット販売が好調 ぴあ会員は1,500万人を突破

「チケットぴあ」のインターネット販売が、スマートフォン専用サイトの利用率の高まりとともに伸張し、同サービスを利用する際にご登録いただいている「ぴあ会員」が今年3月に1,500万人を突破しました。昨年8月には、「チケットぴあ」Webサイトでの購入金額等に応じてポイントが貯まり、様々なジャンルのイベントチケット等とお引き替えいただける「ぴあポイント」サービスを開始するなど、会員の皆様に対し、より質の高いサービスを提供するとともに、利便性の向上に努めています。

### KDDIとの取り組みが更に加速

昨年5月にKDDI株式会社との業務提携を実施し、10月にスタートしたスマートフォン向けエンタテインメントサイト「uP!!!」や関連ライブイベントを軸に、両社による取り組みが拡大しています。今年1月には株式会社スペースシャワーネットワークとも連携し、様々なメディアを複合的に組み合わせたサービスやイベントをスタート。また、3月には初の有料興行「uP!!!SPECIAL MUSIC COMPLEX 2014, Spring」を両国国技館にて開催し、豪華アーティストが熱いステージを披露しました。今後も、幅広いお客様に新たなエンタテインメント体験をご提案してまいります。



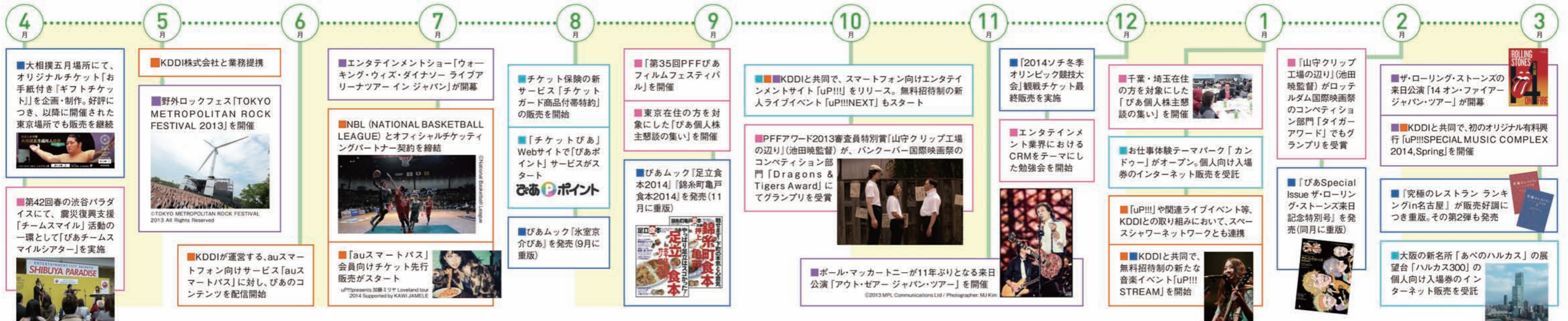
初の有料興行にはワルブルスらが出演

### コンプライアンス室を新設

2013年度に発生した、当社出版物における印刷部数の虚偽報告、また「チケットぴあ」Webサイトにおいてクレジットカード決済された一部のお客様に対する二重請求の問題等を受け、当社では、チーフ・コンプライアンス・オフィサー、ならびにコンプライアンス室を新設いたしました。従業員に対するコンプライアンス意識の徹底と再発防止に向け、全社を挙げて取り組んでまいります。

## 2013年度の主なトピックス

■インターネットのさらなる活用 ■既存事業の盤石化、経営資源の選択と集中 ■アライアンス戦略の推進 ■主なびあ主催（共催／出資）興行 ■CSR活動 他



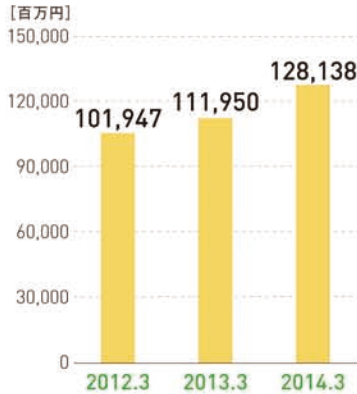
# 連結財務ハイライト

## 売上高

前年同期比

**14.5%増**

音楽を中心に大型興行のチケット販売が好調に推移するとともに、インターネットでの販売も伸張し、3期連続で過去最高の売上高を更新。

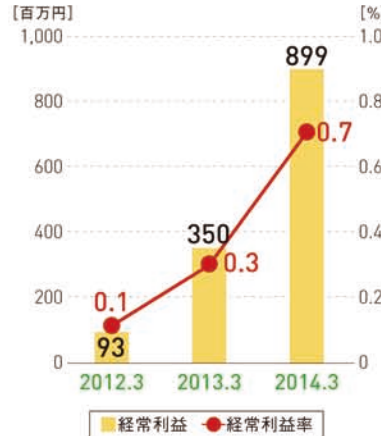


## 経常利益

前年同期比

**156.7%増**

チケット販売の好調に加え、チケットティングシステムのソフトウェア償却費が減少したことにより大幅な増収増益を確保。

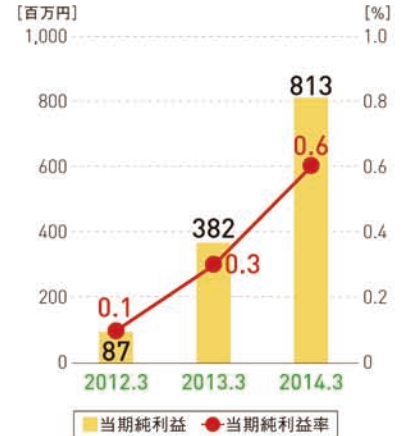


## 当期純利益

前年同期比

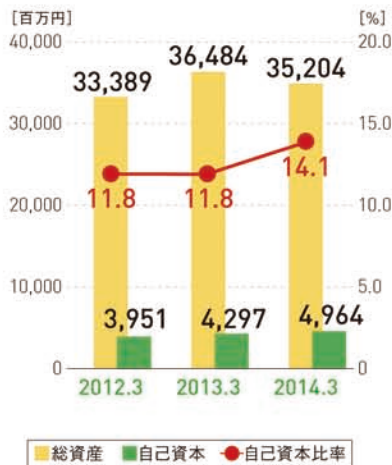
**112.5%増**

当初予想を大幅に上回り、過去最高の売上高を記録するとともに、利益も大幅に伸張。中期事業計画の2年目で、黒字体質が定着。



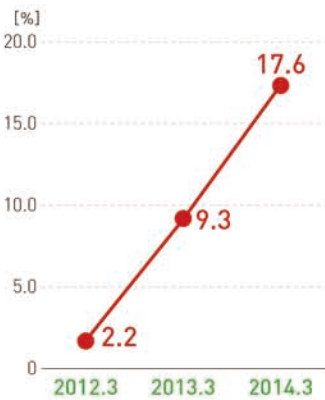
## 安全性指標 自己資本比率

※自己資本比率=自己資本/総資産

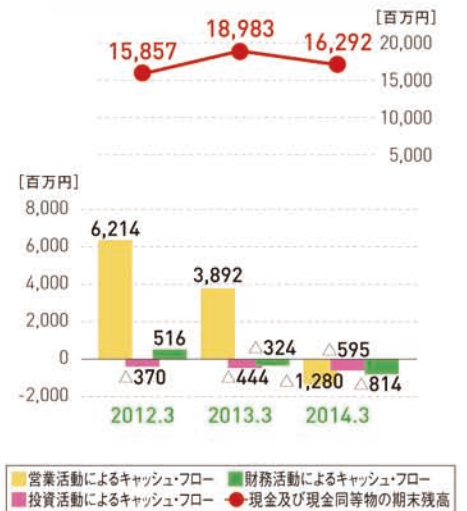


## 効率性指標 ROE (自己資本当期純利益率)

※ROE=当期純利益/期首と期末の自己資本の平均値



## キャッシュ・フロー



## 2014年度の見通し

中期事業計画の最終年度となります2014年度の通期業績見通しは、売上高1,180億円、営業利益11億円、経常利益11億円、当期純利益10億円となる予想です。売上高については、現時点で大型興行が予定されていないこともあり中期事業計画の数値を若干下回るものの、利益は計画を上回るペースで拡大基調の継続を見込んでいます。

## 2014年度連結業績予想

[単位:百万円]

	上期		通期	
	2013年度実績	2014年度予想	2013年度実績	2014年度予想
売上高	64,120	60,000	128,138	118,000
営業利益	537	650	899	1,100
経常利益	540	650	899	1,100
当期純利益	386	600	813	1,000
1株あたりの配当金	—	—	10.00円	12.00円

当社財務情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://corporate.pia.jp/ir/>

# ご案内

ぴあが主催(共催/出資)するエンタテインメント(2014年6月以降開催予定の主な公演)

## イベント 特別展

### The World of TIGER & BUNNY

TVアニメが大人気を博した痛快ヒーローアクション「タイバニ」。劇場版第2弾公開を記念して、一連のタイバニ・ムーブメントの軌跡を辿る、本格的な展覧会を開催。

6/24~7/6 ●東京・サンシャインシティ 展示ホールA  
(大阪、名古屋、福岡での開催は終了)

©SUNRISE/T&B MOVIE PARTNERS  
©SUNRISE/T&B PARTNERS



## 演劇 ミュージカル

### 「天才執事ジークス」

「CATS」等で知られる作曲家、アンドリュー・ロイド・ウェバーと、英国で超人気の劇作家アラン・エイクボーンによるミュージカル・コメディが日本初上演。



7/4~13 ●東京・日生劇場

## クラシック オペラ

### スロヴェニア・マリポール国立歌劇場 ヴェルディ「アイダ」

国家予算を潤沢に投入し、イタリアの名演出家により、正統かつ最高の舞台を実現。幻想の古代エジプトがドラマティックに魅惑。



10/19・22・23

●東京・オーチャードホール

## 演劇 キャラメルボックス

「TRUTH」7/26~8/17 ●東京・サンシャイン劇場

「涙を数える」7/30~8/16 ●東京・サンシャイン劇場

※2作品同時上演

## 演劇 韓国ミュージカル

### 「女神様が見ている」

9/20~10/5 ●東京・世田谷パブリックシアター

## クラシック ポール・ポツ

### 「ワンチャンス」 JAPAN TOUR 2014

9/30 ●東京・オーチャードホール

※上記公演は、他のエリア・日程で上演されるものもあります。

公演情報の詳細は、「チケットぴあ」Webサイトにてご確認ください。

<http://pia.jp/>

## 最近のぴあの出版物

### 話題の新作



エンタメ  
81 JAPAN  
[3月発売]



ホビー  
新幹線ぴあ  
[3月発売]



ホビー  
Barbieぴあ  
[4月発売]



グルメ  
沖縄食本  
2014~2015  
[4月発売]



レジャー・旅  
夏ぴあ  
首都圏版/  
関西版/東海版  
[5月発売]



エンタメ  
ウルフルズぴあ  
[5月発売]



スポーツ  
FOOTBALL DAYS  
戸塚啓責任編集  
2014 フランス  
ワールドカップ  
観戦パーフェクト  
ガイド  
[5月発売]



エンタメ  
ぴあ Movie  
Special  
2014 Summer  
[6月発売]

定刊誌 月刊スカパー! [月刊] TVぴあ(全国5版) [隔週刊] ※発売元  
韓流ぴあ [月刊サイクル] SODA [隔月刊サイクル]

その他、様々なムック・書籍等を続々刊行中です。

ぴあの出版物は、書店及びオンラインショップ「BOOKぴあ」にてお買い求めいただけます。

[piabook.com](http://piabook.com)

## CSR活動のご紹介

### 一般社団法人「チームスマイル」とは

当社がCSR活動として参画している一般社団法人「チームスマイル」は、東日本大震災による被災者の支援、及び被災地の復興のため、エンタテインメントを通じた支援事業を行う団体として2012年10月に設立されました。単発のチャリティイベントではなく、長期的視野に立った「心の復興」を継続的に展開するため、東京と被災地に4つのシアターを開設することを目標に、現在その準備が進められています。特に、被災地の若者や子供たちの芸術創作活動へのチャレンジを、エンタテインメント業界が一体となってサポートすることで、被災地における復興への熱い思いが東京や全国、いずれは海外にまで発信されることを目指しています。なお、これらの活動により得た収益金は、東北3県の拠点の運営、ならびに復興支援活動のために全額が活用されます。



### 海外からも高い評価を受けるPFF

「PFFアワード2013」で審査員特別賞を受賞した「山守クリップ工場の辺り」(池田暁監督)が、昨年9月より行われたバンクーバー国際映画祭(カナダ)、更に今年1月より開催されたロッテルダム国際映画祭(オランダ)のコンペティション部門にてグランプリを受賞し、PFF作品が日本国内のみならず、海外でも高い評価を得ています。また、PFFにおける初の試みとして、長編映画製作援助システム「PFFスカラシップ」の最新作『過ぐる日のやまねこ(仮)』(鶴岡慧子監督)の製作にあたり、クラウドファンディングを実施し、一般の方より幅広く支援を募ることになりました(〜6/27まで募集)。皆様からのご支援を、日本映画界の未来を担う、新人監督の育成につなげてまいります。

■『過ぐる日のやまねこ(仮)』クラウドファンディングWebページ  
<https://www.makuake.com/project/pffscholarship>



「山守クリップ工場の辺り」



グランプリを受賞した池田監督(前列右)

# 株式情報 (2014年3月31日現在)

## 会社概要

商号	ぴあ株式会社 (PIA CORPORATION)
本店所在地	東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー
設立	1974年12月
資本金	4,239,158千円
社員数(連結)	260名

### 事業内容

音楽・スポーツ・演劇・映画・各種イベント等のチケット販売、レジャー・エンタテインメント領域におけるムック・書籍の刊行及びWebサイトの運営、コンサートやイベントの企画・制作・運営などエンタテインメントに付随する他事業

### 役員

代表取締役社長 (CEO)	矢内 廣
取締役	白井 衛
取締役	木本 敬巳
取締役	長島 靖弘
取締役	村上 元春
取締役	夏野 剛
取締役	吉澤 保幸
取締役(社外)	佐久間 昇二
取締役(社外)	富山 和彦
取締役(社外)	松永 明生
常勤監査役	能勢 正幸
監査役	斎藤 廣一
監査役(社外)	松田 政行
監査役(社外)	新井 誠

※役員構成は第41回定時株主総会決議後の2014年6月14日時点の情報を掲載しています。

### 主要グループ会社

ぴあデジタルコミュニケーションズ株式会社  
チケットぴあ九州株式会社、株式会社東京音協  
チケットぴあ名古屋株式会社

## 株式の状況

発行済株式総数	14,092,913株
株主数	25,980名

### 主な株主

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
矢内 廣	2,900,100	20.58
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	1,409,400	10.00
凸版印刷株式会社	1,087,709	7.72
株式会社セブン&アイ・ネットメディア	704,700	5.00
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	704,700	5.00
KDDI株式会社	649,300	4.61
斎藤 廣一	506,300	3.59
株式会社経営共創基盤	481,800	3.42
林 和男	450,800	3.20
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	374,600	2.66

## 株式メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
配当受領株主確定日	毎年3月31日(中間配当を実施するときの株主確定日は、9月30日です)
公告方法	電子公告(URL) <a href="http://corporate.pia.jp/">http://corporate.pia.jp/</a> (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞にて行います)
株主名簿管理人 事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合せ先	TEL.0120-782-031
インターネット ホームページ	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
特別口座管理機関 事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店 証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合せ先	TEL.0120-288-324
単元株式数	100株

※住所変更等の事務手続きは、お取引の証券会社等にてお手続きください。

## 株主優待制度について

2014年3月31日現在の株主の皆様に対し、株主優待を実施しています。

### 1. 優待品目と事前選択

チケットぴあギフトカード、オリジナル図書カード、オリジナルシネマギフトカードの3品目。下記優待金額の範囲内で、自由に組み合わせることで事前選択していただくことができます。



### 2. 優待区分

[期末保有株式数]

保有期間	優待金額
2期末満(1年未満) 保有	5,500円分
2期 2期以上(1年起) 継続保有	11,000円分
	2,500円分
	5,000円分

## 上場株式等の配当等に係る10% (所得税7%、住民税3%) 軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%、住民税3%)は廃止され、本来の税率である20%(所得税15%、住民税5%)となりました。

また、2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が施行されており、その所得税額に対して2.1%が「復興特別所得税」として課税されています。そのため、株式等の配当等もその源泉所得税を徴収する際に「復興特別所得税」が併せて徴収されています。

#### ●上場株式等の配当等の源泉徴収に係るご留意事項

- 個人の株主様で発行済株式総数の3%以上の株式等をご所有される場合の所得税率は、20.42%(所得税20%+※復興特別所得税0.42%)となります。 ※20%×復興特別所得税率2.1%=0.42%
- なお、住民税につきましては、別途お手続きが必要となります。
- 配当等をお受け取りになる方が、法人の場合には住民税は課税されません。

その他詳細につきましては、所轄の税務署等へご確認ください。

#### <上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について>

配当等の支払開始日	2014年1月1日~2037年12月31日	2038年1月1日~
上場株式等の配当等の税率	20.315% [内訳] 所得税(15%)・住民税(5%) + ※復興特別所得税(0.315%)	20% [内訳] 所得税(15%)・住民税(5%)

※15%×復興特別所得税率2.1%=0.315%

#### ●「復興特別所得税」に係るご留意事項

- 所得税が非課税または免除となる場合や租税条約の適用により国内法に規定する税率以下となる場合につきましては、復興特別所得税は課税されません。
- 配当金等のお受け取り方法が株式数比例配分方式の場合の税額等につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。